

（緊急消防援助隊等の訓練・研修拠点としての活用方策の例）

ロールプレイング式研修

○事前に被災状況の情報を与えず、限りなく実際の災害時に近い状況を設定し、訓練参加者がその被害状況を擬似体験し、それぞれの役割で災害にどう対応していくかを修得していく訓練である。

レスキューロボット研究成果の活用

○『大都市大震災軽減化プロジェクト』（文部科学省）で期待されるレスキューロボット研究成果等を取り込んだ訓練内容についても検討を行う。

例えば、下図に示すような瓦礫下からの負傷者の救出、応急手当および搬送の一連の訓練である。

消防大学校、消防学校 e ラーニングによる遠隔教育の実施

